

2007/10/01

文責：関根

2007 年度第 1 回基礎水理部会議事メモ

日時：2007 年 9 月 12 日 12:00-13:00

場所：広島大学工学部 A2-541 室

出席者：泉(北海道大), 清水(北海道大), 長林(日本大), 高橋(日本大), 清水(群馬大), 関根(早稲田大), 山坂(国土館大), 本田(大成建設), 富永(名工大), 藤田(岐阜大), 横嶋(静岡大), 里深(京都大), 竹林(徳島大), 羽田野(山口大), 鬼束(九工大)

1. 基礎水理シンポジウムの件

標記のシンポジウムに関して配付資料をもとに議論した。確認あるいは決定された事項は以下の通りである。

- シンポジウム名称は原案通り「基礎水理シンポジウム」とする。
- 開催は可能な限り今年度からとし、今年度に関しては試行的に実施する。開催予定日ならびに場所は 12/18(火), 土木学会講堂とする。
- 今年度のテーマに関しては、原案として提示した「流砂」と「都市の氾濫解析」の二つが了承された。今後、メール審議により実施計画を早急に練り上げていく。
- 次年度以降に関してはこの実施の状況を踏まえて具体案を練り上げていく。従って、次年度から本格的な会を立ち上げていくこととする。テーマとしてはあくまでも「基礎水理」としてふさわしいものを中心に据えるが、年度により他部会との共催の形で境界領域の問題を扱うことも考えていく。
- 関連する情報は、水工学委員会ならびに基礎水理部会のホームページに掲載するほか、メールリングリストを通じて周知する。
- 講演要旨集(仮称)を印刷・配布する予定であるが、その費用をどのように確保するかについて清水先生(水工学委員会幹事長)に調査を依頼した。規則上、会費を徴収することが可能であれば、そのように考える。
- 部会メンバーの専門性を調査した上で、人数に偏りがあることを確認した。今後、この偏りを少しでも解消するため、3 月の第二回の部会に向けて新メンバーの人選を進める。人数は 4 名を上限とし、若手の候補者に参加を期待する。

2. 分科会からの報告

- 「流体力に関するシンポジウム」開催について：長林委員より報告があり、下記の日時に開催する旨のアナウンスがあった。開催日：11 / 3 (土)～4 (日), 場所：京都大学防災研究所穂高砂防観測所。後日メンバーにはメールにて案内が届く。
- 「河床変動の数値計算ソフトウェア」に関する分科会：清水委員ならびに竹林委員から現況についての報告があった。

3. その他

若手の部会メンバーの追加をお認め戴きましたので、これに適任の候補者がいらっしゃいましたら、随時ご推薦戴きたく存じます。来年 1 月末日まで推薦を受け付け、まとめた結果をメールにてお諮りした上で、最終的には 3 月の部会の折にご承認戴く予定であります。なお、推薦に当たりましては、これまでの例に倣って、本人の略歴、主要な研究論文リスト(あくまでも専門分野を特定することを目的とする)をご提出下さい。

以上